

河原にもいる！？寒地型芝草

サカエグリーンでは、暖地型芝草と寒地型芝草を併用することで、1年中緑色をしたグラウンドを実現しています。今回は、寒地型芝草の草種の特徴についてご紹介します。

芝草は、大きく暖地型と寒地型に分けられます。その名の通り、暖地型は温かい地域、寒地型は寒い地域での生育に適しています。

暖地型芝草は低温期には休眠し、茶色になります。これは、あくまでも“休眠”であり、暖かくなると再び芽を出し、緑度がよみがえります。

一方、寒地型芝草は高温期に休眠することはありませんが、高温や乾燥に耐えきれず、夏枯れしてしまうことがあります。

一口に寒地型芝草といっても、特性の異なる様々な草種があり（右表）、地域や利用目的にあった最適な草種を選択することが、高い品質の芝生を実現する重要なポイントと言えます。

一般的にはほふく茎を伸ばし栄養繁殖を行う暖地型芝草と違い（暖地型芝草でも種子が流通している草種はあります）、寒地型芝草は種子により繁殖します。グラウンド等の頻繁な刈取りが行われる場所では、毎年の播種が必要となります。その種子は、大抵は海外から輸入されたものです（これらは、牧草としても使用されます）。

はるばる海を超えてきた種子、というと何だか特別な感じがしますが、実は同じ草種の雑草は日本の河原にも生育しているのです。

機会があれば、ぜひ探してみてください。



◀オニウシノケグサ
大きな株を形成する

※掲載した写真は、神通川の河川敷に生えていた、近縁種と考えられるものです。

寒地型芝草の草種と特徴 ※ () 内は和名

ベントグラス (コヌカグサ)

- 地上ほふく茎をもつ
- 繊細でやわらかい
- 極度の低刈りや頻繁な刈込みに耐える

ケンタッキーブルーグラス (ナガハグサ、イチゴツナギ)

- 寒地型芝草で最もポピュラー
- 冷涼地域の芝生の基本草種として幅広く利用される
- 地下ほふく茎をもつ
- 繊細でやわらかい
- 耐寒性が高い
- 耐暑性・耐病性は品種間差が大きい
- ターフの形成に長時間を要する



トールフェスク (オニウシノケグサ)

- 分げつにより繁殖
- 葉は粗剛
- 根が深く、根張りも強い
- 土壌をあまり選ばない
- 耐暑性・耐旱性・すり切れ抵抗性が高い



ペレニアルライグラス (ホソムギ)

- 単年草
- 分げつにより繁殖
- 繊細でやわらかい
- 発芽・初期生育が早い
- 踏圧に強く幅広く利用される
- 耐暑性・耐寒性は品種間差が大きい
- 耐暑性が低い品種はウィンターオーバーシーディング用として利用される



イタリアンライグラス (ネズミムギ)

- 一年草 (越年草)
- 発芽・初期生育が早く生育が旺盛なため、早期緑化用として利用される
- 耐暑性が低く、ウィンターオーバーシーディング用として利用される

製品紹介

M.O.Xゴールド

酸素と木酢液の力で作物の品質向上！



- 一般名称：蒸留木酢液入酸素供給液
- 内容成分：過酸化水素 5.5~6.0%
蒸留木酢液
- 包装：10kg/缶
- 施用目安：100倍液を散布

- 散布後すみやかに酸素を発生し、根の生育を旺盛にすることで、養水分の吸収量が高まります。
- 作物の品質向上が期待できます。

- アルカリ性の強い薬剤あるいは鉄材との混用は避けてください。
- 葉面散布は夕方に行うのが効果的です。

プラントアクティベーター

芝生の生育活性を高める



- 一般名称：クエン酸・ステビア抽出エキス入り
芝生専用生育活性剤酢酸
- 内容成分：クエン酸、ステビア抽出エキス
- 包装：10L
- 施用目安：500倍希釈
500ml~1L/㎡で散布

- 生育が停滞した芝生に散布すると、芝の活性が高まりシャキッとします。
- クエン酸、ステビア（糖質）配合。発根を促進します。
- 抗酸化物質を含むため、植物体内で発生する活性酸素を消去します。

- 製品は強酸性（pH1.6）です。必ず希釈してご使用ください。
- アルカリ性農薬、特に石灰硫黄合剤、ボルドー液との混用は避けてください。

オリゴSG

耐病性・耐乾燥性・土壤微生物活性の向上に



- 一般名称：二糖類資材
- 内容成分：トレハロース 100%
- 包装：1kg/袋、20袋入り/ケース
- 施用目安：1~2g/㎡
500~1000倍希釈

- オリゴ糖は植物の病原菌感知センサー（エリシター）の活性を高め、植物の病気への抵抗性を高めるほか、乾燥などのストレスを受けた植物の細胞を保護するため、水管理の手間も低減できます。
- オリゴ糖が土壤微生物のエサになり、根圏微生物の増殖を促して土壤環境を整えます。
- 希釈した状態での液肥及び農薬類との混合が可能です。
- 肥料ではありませんので、施肥は規定どおり行ってください。
- 高温時の日中散布はなるべく避けてください。

- 姉妹品に、海藻抽出物等を加えた「オリゴエイド」、さらに二価鉄を加えた「スーパーオリゴエイド」があります。